

原子力発電所での全電源喪失による 冷却機能消失と炉心溶融が生じることについて

原子炉の冷却ができない事態が生じないように安全の確保に万全を期している

(2006 年 12 月 22 日／安倍内閣の政府答弁書)

燃料が破損、放射能が外部に放出されるという事態に、設計の段階で安全評価をして、そういう事態に至らないようまず確認するというのが一番の基本

(2006 年 10 月 27 日衆院内閣委／鈴木篤之・原子力安全委員会委員長)

多重防護でしっかり事故を防いでいく、メルトダウンを起こさないさまざまな仕組みをつくっている

(2010 年 4 月 9 日衆院経産委／直嶋正行・経済産業大臣)